

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、減少している。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、下げ止まっている。この間、生産は、緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、前年を上回っている。

2. 需要項目別の動向

（１）公共投資・・・弱めの動きとなっている

8月の公共工事請負金額は、県などで増加したものの、市町村や国などで減少したため、前年を下回った。

（図表 1）公共工事請負金額

前年比、%

	2025 年 9 月	12 月	2026 年 3 月	2026 年 6 月	7 月	8 月
山 形 県	25.4	85.7	▲6.2	▲15.6	▲2.6	▲6.9

＜資料＞東日本建設業保証(株)

（注）p は速報値、r は前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

（２）設備投資・・・減少している

6月短観における2026年度の設備投資計画（全産業）をみると、製造業は増加するものの、非製造業が減少するため、前年度を下回る計画となっている。

この間、7月の建築着工床面積（民間非居住用）は、医療・福祉や製造業が増加したものの、電気・ガス・熱供給・水道や農林水産などが減少したため、前年を下回った。

（図表 2）県内企業の設備投資額（2026 年 6 月山形短観）

前年度比、%

山 形 県	2024 年度(実績)	2025 年度(実績)	2026 年度(計画)
全 産 業	20.3	▲34.0< 2.1>	▲4.7< 2.5>
製造業	18.1	▲33.1< 0.1>	2.9< 1.8>
非製造業	24.5	▲35.6< 6.2>	▲18.9< 4.1>

＜資料＞日本銀行山形事務所

〈 〉 内は前回調査比修正率、%

（図表 3）建築着工床面積（民間非居住用）

前年比、%

	2025 年 9 月	12 月	2026 年 3 月	2026 年 5 月	6 月	7 月
山 形 県	54.5	81.0	▲45.7	91.1	▲4.6	▲13.1

＜資料＞国土交通省

(3) 個人消費 ・ ・ ・ 緩やかに回復している

7月の販売額をみると、百貨店・スーパー（全店ベース）、コンビニエンスストア、ホームセンターが、前年を下回った。ドラッグストアは前年を上回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売

前年比、%

山形県	2025年 10～12月	2026年 1～3月	4～6月	2026年 5月	6月	7月
全店	2.7	1.0	0.0	3.1	▲3.2	▲2.6
既存店	2.7	1.4	0.4	3.5	▲2.8	▲2.2

＜資料＞経済産業省

8月の乗用車新車新規登録・届出台数は、前年を上回った。

(図表5) 乗用車新車新規登録・届出台数

前年比、%

山形県	2025年 9月	12月	2026年 3月	2026年 6月	7月	8月
乗用車 合計	▲7.2	▲3.0	▲15.7	4.1	9.3	1.5
普通車	▲6.9	▲15.8	▲18.5	18.8	7.9	11.8
小型車	▲14.6	25.2	▲24.4	▲0.2	13.0	16.3
軽四輪	▲3.4	▲4.4	▲7.8	▲5.4	8.3	▲14.3

＜資料＞東北運輸局

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に緩やかに増加している。

(4) 住宅投資 ・ ・ ・ 下げ止まっている

7月の新設住宅着工戸数は、持家が減少したものの、貸家、分譲が増加し、前年を上回った。

(図表6) 新設住宅着工戸数

前年比、%

	2025年 9月	12月	2026年 3月	2026年 5月	6月	7月
山形県	▲14.5	10.3	▲39.1	127.4	▲10.3	10.2
持家	2.1	▲9.6	▲37.6	120.7	34.5	▲2.8
貸家	▲41.5	51.0	▲39.6	136.7	▲48.5	17.9
分譲	20.6	9.1	▲43.2	126.7	2.9	76.2

＜資料＞国土交通省

3. 生産・・・緩やかに持ち直している

6月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を下回った。業種別にみると、金属製品や非鉄金属など10業種が上昇したものの、電子部品・デバイスや化学など12業種は低下した。在庫指数（季節調整済）は、前月を下回った。

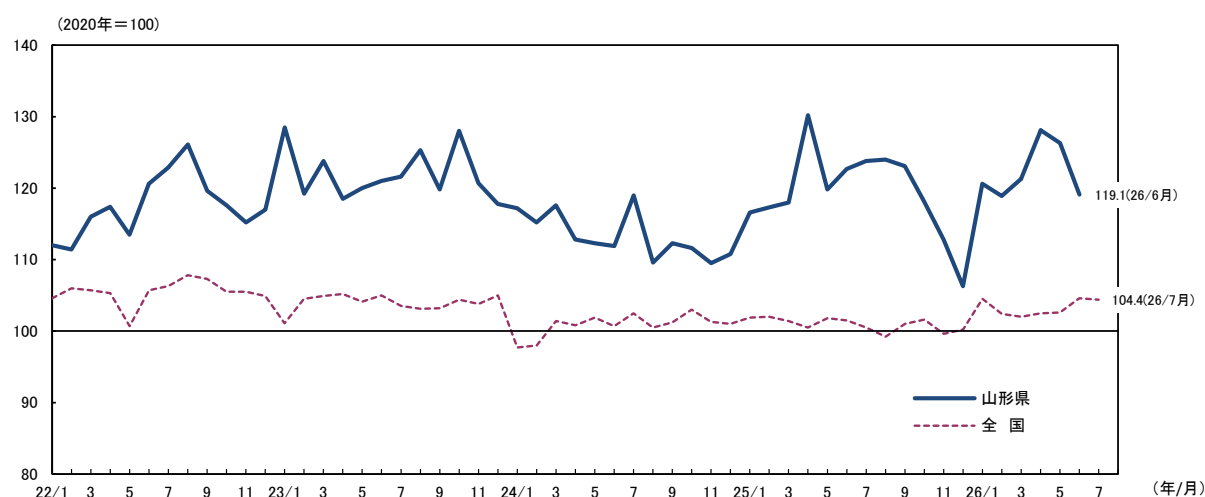
（図表7）鉱工業指数

2020年基準

山形県		2025年 9月	12月	2026年 3月	2026年 4月	5月	6月
生 産	季節調整済前月比%	▲0.7	▲5.8	2.0	5.6	▲1.4	p ▲5.7
	原指数前年比%	15.4	▲4.4	5.6	▲1.6	2.7	p ▲0.3
在 庫	季節調整済前月比%	1.2	0.9	▲2.2	▲0.3	8.6	p ▲1.9
	原指数前年比%	3.9	7.3	13.1	12.6	18.2	p 16.8

＜資料＞山形県

（図表8）鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



＜資料＞経済産業省、山形県

4. 雇用・所得環境・・・改善している

7月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.39倍となった。業種別の新規求人数をみると、農林漁業や宿泊・飲食サービスなどが減少した一方、サービスや医療・福祉などが増加し、前年を上回った。

（図表9）雇用関係指標（その1）

倍、%

山形県	2025年 10～12月	2026年 1～3月	4～6月	2026年 5月	6月	7月
有効求人倍率	1.29	1.28	1.35	1.29	1.35	1.39
完全失業率	2.0	2.2	2.3	—	—	—

＜資料＞総務省、山形労働局

（注）有効求人倍率の四半期データは、四半期末の水準。

6月の常用雇用指数は前年を下回った。所定外労働時間は前年を下回った。

(図表 10) 雇用関係指標 (その 2)

2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山 形 県	2025 年 9 月	12 月	2026 年 3 月	2026 年 4 月	5 月	6 月
常用雇用指数	▲0.3	0.8	0.8	0.8	▲0.3	▲0.2
所定外労働時間	▲11.8	▲14.9	▲12.9	▲14.1	▲8.9	▲3.0

〈資料〉山形県

6月の現金給与総額(名目賃金指数)、きまって支給する給与ともに、前年を上回った。

(図表 11) 所得関係指標

2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山 形 県	2025 年 9 月	12 月	2026 年 3 月	2026 年 4 月	5 月	6 月
現金給与総額 (名目賃金指数)	1.9	1.4	0.2	1.6	▲1.2	1.9
きまって支給 する給与	0.7	0.9	1.1	1.2	1.0	1.1

〈資料〉山形県

5. 企業倒産 . . . 概ね前年並みとなっている

8月の企業倒産(負債額 10 百万円以上)は 4 件、負債総額は 24.1 億円となった(前年同月は 4 件、11.9 億円)。

(図表 12) 企業倒産

件、億円

山 形 県	2025 年 9 月	12 月	2026 年 3 月	2026 年 6 月	7 月	8 月
件 数	6	4	10	6	7	4
負債総額	2.6	3.6	7.3	4.8	6.7	24.1

〈資料〉(株)東京商工リサーチ

6. 物価 . . . 前年を上回っている

7月の消費者物価指数(山形市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数

2025 年基準、前年比、%

山 形 市	2025 年 9 月	12 月	2026 年 3 月	2026 年 5 月	6 月	7 月
総 合	2.2	1.4	r 1.2	r 1.3	1.3	1.9
生鮮食品を除く総合	2.3	1.8	r 1.6	1.3	1.6	1.8

〈資料〉山形県

7. 金融

7月の県内預金(銀行+信用金庫) および県内貸出(銀行+信用金庫)は、いずれも前年を上回った。この間、貸出金利は、上昇している。

(図表 14) 預金、貸出金 %

山 形 県	2025 年 9 月	12 月	2026 年 3 月	2026 年 5 月	6 月	7 月
実質預金+CD (末残前年比)	▲0.3	▲0.1	0.7	1.7	1.7	1.5
貸出金 (末残前年比)	2.4	1.3	2.2	2.6	3.1	3.3

＜資料＞日本銀行山形事務所

- (注) ・国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)、信用金庫の県内全店舗を集計。
 ・銀行勘定(国内銀行についてはオフショア勘定を除く)を集計。
 ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
 ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
 ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利 %ポイント

山 形 県	2025 年 10～12 月	2026 年 1～3 月	4～6 月	2026 年 5 月	6 月	7 月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	0.036	0.079	0.130	0.021	0.081	0.012

7月末水準
1.403%

＜資料＞日本銀行山形事務所

- (注) 山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利(銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの)を貸出金残高(同)で加重平均したもの。

以 上

(内容に関するお問い合わせ先)
 日本銀行山形事務所
 TEL : 023-622-4004